

成城で24年間インプラント治療を行う クリニックが提案

健康に老いるために 今できること

入れ歯に次ぐ治療法として注目されている、インプラント。高額な治療費と手術への不安から二の足を踏んでいる人もいますのでは？ 患者さんのニーズに対応しながら、インプラント治療歴24年の「成城デンタルクリニック」の治療をレポートします。

成城デンタルクリニック



成城デンタルクリニック
院長 黒田善久先生

1982年大阪歯科大学卒業。原宿デンタルオフィス勤務、町田歯科クリニック院長を経て、1985年同クリニック開院。1988年からインプラント治療を導入し今年で24年目

手術は不安？ 歯科麻酔医も入る チーム医療でインプラント

人工歯根のインプラントをあごの骨に埋め込み固定するインプラント治療。グラつかず、歯茎や骨にかむ力がかかることで、歯の機能と健康が維持されるとされています。この治療・手術を支えるため、同クリニックでは、手術前に歯科用CT機器で三次元画像を撮影するなどの精密検査の上、シミュレーションを事前に重ねます。手術時は「チーム医療」で対応。院長、日本口腔外科学会認定口腔外科専門医（医師／堀内克啓）、歯科麻酔医（医師／橋本崇文）、アシスタントドクター、看護師、歯科衛生士を含む計5～7人で手術に当たります（※）。また、クリニック内には歯科技工士が常駐し、インプラントに必要なジョイントや人工歯を作成しています。※口腔外科専門医、歯科麻酔医は非常勤



同クリニックのスタッフ

「成城学園前駅から歩いて守谷（マサノ）まで徒歩5分の地に開院し今年で27年になる「成城デンタルクリニック」は、インプラント治療を開始したのが、最も先端の技術を駆使したのが、24年前。以後、最新の最先端の技術を開発し、現在は、予防のための多くの治療・研究・症例、メンテナンスや治療を通を重ねて現在に至りまじ、口腔環境の維持・増進。インプラント治療は、進歩が目指すクリニック。「近い将来への投資のよすでに痛くなった悪い歯（うなも）と語る院長のを治療するだけでなく、黒田善久先生に話を聞き

前向きに生きるための「歯」 食べる喜び、いつまでも

壮年期を迎え、60歳を超えると子育てもひと段落つき、自分の人生を楽しめるころでしょう。人生を楽しむ、そして健康を維持してゆく中で大きなウエイトを占めるのが、「食」。「食べることは生きること」と言っても過言ではありません。病気になったら、体力回復のために食事は不可欠。そんなときに入れ歯が合わない、よくかめない状況は、健康の回復に影響が出ます。

インプラントは、天然歯同様にかめる“第三の歯”ともいわれています。“健康に老いてゆかために今できること”として、元気なうちに歯科治療を受けることを考えてみてはいかがでしょうか。歯が1本もなくとも、もちろんインプラント治療はできますが、残りの歯をできるだけ生かすためには、今の歯に負担をかけないことが大切です。インプラントはそのための選択肢の一つでもあります。

「前向きに生きる」「元気に老いる」とこと、「歯」は二人三脚。かむことは生きることとつながっています。「食べる喜び」をいつまでも感じられるよう、治療後のメンテナンスを含め、長い期間を見据えた患者さんの健康な「歯」のお手伝いをしています。

インプラント治療費の目安

- 歯1本欠損の場合…33万円
- 奥歯3本欠損の場合…99万円
- 上(下)の歯全てインプラントにした場合…200万～380万円

※上記に加え、初診料（総合資料+CT撮影+カウンセリング）2万2500円がかかります ※全て自由診療です



クリニック内にある歯科用CT機器。完成をイメージするため、三次元で画像を作成

インプラントの相談から 治療までのイメージ



5～10分程度の電話相談は無料です
遠方の方はクリニックの紹介もしてくれます



予約・問い合わせ
成城デンタルクリニック
☎03(3415)4887
http://www.seijo-dc.jp
※同クリニックは全て自由診療・完全予約制です

■ 診療時間 8:00～13:00、14:00～18:00
■ 休診 水・日曜、祝日
■ 住所 世田谷区成城2-10-8、SDCビル1階※駐車場あり
■ アクセス 小田急線「成城学園前」駅南口徒歩5分。または渋谷駅、都立大学駅北口、二子玉川駅、等々力操車所・用賀駅から、東急バス「成城学園前駅」行き「成城町」バス停前